

F Mくしろ「市役所からこんにちは」資料（令和5年8月放送分）
放送日 令和5年8月28日（月曜日）午前10時5分～10時20分

（話題1）スマートフォン教室の開催について

【エフエムくしろ パーソナリティー】

今日は、蝦名市長にお越しいただいてお話しいただきます。それでは、市長、今日はどのようなお話でしょうか？

【市長】

スマートフォン教室の開催についてお知らせいたします。昨年、好評をいただきましたスマートフォン教室についてまなぼっと幣舞、コア3館を会場とし、各回10名、延べ360人を対象に今年度も実施いたします。釧路市では『スマートフォンの中に市役所がある』を基本理念とした釧路市DX推進方針を策定し、LINEによる子育て情報の配信や、公園内のバーベキューコーナーのオンライン予約など、スマートフォンから利用できる様々な行政サービスを開始しており、今後も、さらに充実させていく予定です。昨年度のスマートフォン教室は、約1,200名の参加があり、実施したアンケートに「よくわかった」または「わかった」と回答した参加者が80%を超え、これまでスマートフォンを持っていなかった方の66%が「スマホを持ちたい」と答えており、スマートフォン教室はデジタル・デバインド（情報格差）対策としてとても有効な手段の一つだと考えております。今年度については、昨年度参加された方からのご要望を受け、開催日を平日から、働いている方でも参加しやすい土日に変更する他、スマートフォンを持っている方とそうでない方の講座内容を明確に区分するなど、より、わかりやすい講座としています。また、アシスタントには、昨年度「孫のような世代の方とコミュニケーションがとれて楽しかった」とご好評をいただいた市内の学生や、子育て世帯の親御さんも採用し、様々な世代で交流を図るとともに、参加者2人に対し、アシスタントが1人、隣でサポートしますので、分からないこともすぐに聞くことができます。昨年度受講した方も参加可能ですので、ぜひ、この機会にお申し込みいただき、スマートフォンの便利な機能を体験していただければと考えております。

【エフエムくしろ パーソナリティー】

ありがとうございます。ただいまお話のありました、スマートフォン教室は、9月30日（土曜日）より、まなぼっと幣舞、コア鳥取、コア大空、コアかがやきの計4か所の会場で、順次開催されます。今年度の「スマートフォン教室」は、基本講座として「Aコース：スマホを持っていない方むけ」と「Bコース：スマホは持っているけど不慣れな方むけ」、応用講座として「Cコース：スマホをもっと使いこなしたい方むけ」の3コースがあり、各会場各コースの定員は10名程度となっています。お申込みは本日から9月8日（金曜日）まで、「スマートフォン教室」事務局の株式会社うつくしろ（090-8595-2435、090-4370-9743）にて受付いたします。なお、申込方法や会場ごとの日程等詳細につきましては、9月1日（金曜日）配布の「広報くしろ9月号」をご覧ください。

（話題2）第61回北海道障がい者スポーツ大会の開催について

【エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【市長】

9月に釧路市で開催される、第61回北海道障がい者スポーツ大会についてです。11年ぶりに釧路管内で開催されるこの大会は、9月3日（日曜日）に、釧路市民陸上競技場で陸上競技を、9月24日（日曜日）に、釧路町総合体育館で車いすバスケットボールを実施します。9月3日（日曜日）の陸上競技には、釧路市から7人の選手がエントリーし、車いすの部の100m競技や、視覚障がいの部の800m走、知的障がいの部 走り幅跳びなどの種目に参加し、来年10月に佐賀県で開催される全国障害者スポーツ大会の出場権をかけて、全道の選手と競い合います。全力でプレーする選手たちに、ぜひ、会場で応援をしていただければと思います。また、9月24日（日曜日）に開催される車いすバスケットボール大会

には、前回大会で優勝した釧路市の強豪チーム「釧路 FREEZZ (フリース)」が出場します。7名で結成している釧路フリースは、これまで多くの全国大会の出場経験を持つ強豪チームであります。当日は、札幌市、旭川市との3チームリーグ戦を行いますので、激しいぶつかり合い、迫力ある対戦をぜひご覧いただき、釧路の選手に声援を送っていただきたいと思います。

（話題3）今後のイベントについて

【エフエムくしろ パーソナリティー】

市長、イベントのお知らせがあると聞いておりますが。

【市長】

毎年恒例の「秋の動物園まつり」を9月17日（日曜日）、18日（月曜日・祝日）の2日間、開催いたします。両日開催されるのが、「健康ウォーク・クイズラリー」です。動物のクイズを解きながら園内を回っていただき、両日先着100名の方に参加賞としてポカリスエットをお渡しします。この機会に道内一の広さを誇る動物園を歩いて、良い汗を流してみたいかがでしょうか。また、敬老の日（18日 月曜日）には、推定65歳以上であり、国内最高齢のシロテテナガザルのオンちゃんのイベント「長生きしてねオンちゃん」を行い、担当飼育員からオンちゃんの現在の様子などについてお話しします。参加してくださった方には記念カードを配付いたします。18日（月曜日）は65歳以上の方の入園が無料となっておりますので、ご家族の皆さんで楽しんでいただけるイベントが盛りだくさんの「秋の動物園まつり」に、ぜひ多くの市民の皆さんにお越しいただきたいと思います。

【エフエムくしろ パーソナリティー】

次は、どのようなイベントの紹介でしょうか？

【市長】

続いて「ラムサール条約釧路会議30周年記念シンポジウム」についてです。今年はラムサール条約釧路会議から30周年であり、それを記念したシンポジウムを9月24日（日曜日）に行います。ラムサール条約とは、水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約のことで、釧路湿原は1980年に、この条約の国内第1号として登録されました。そして、1993年にアジアで初めてとなる、ラムサール条約第5回締約国会議がここ釧路で開催されました。これは通称「釧路会議」と呼ばれ、95カ国から1,200人以上が参加し、釧路湿原が広く知られるきっかけになりました。本会議後、釧路国際ウェットランドセンターが設立され、湿地保全や渡り鳥に関する国際的な会議や研修が行われてきました。また、開発途上国から、釧路地域の湿地の保全、活用事例を学んで自国の開発に活かしてもらうことを目的に、国際協力機構JICA(ジャイカ)研修では、これまでに77カ国、554名の研修生を受け入れてきました。他にも、釧路湿原を含めた釧路管内のラムサール条約登録湿地と、オーストラリアのニューサウスウェールズ州にある「クーラガング湿地とその周辺湿地（現：ハンター河口湿地）」と、国内初の姉妹湿地提携を結びました。国内のラムサール条約登録湿地は、釧路湿原を皮切りに、現在53か所に登ります。このシンポジウムは、午前の部と午後の部を設けており、午前の部では、釧路管内7校の小・中・高校生が、研究・活動を発表し、午後の部では、釧路会議からの30年を振り返りつつ、湿原の変遷や動植物の動きを専門家から講演、討論を行います。事前申し込みの方全員に、記念タンブラーをプレゼントいたしますので是非、皆さん足をお運びください。

【エフエムくしろ パーソナリティー】

ありがとうございます。ただいまお話のありました、ラムサール条約釧路会議30周年記念シンポジウムは、9月24日（日曜日）午前10時から午後4時30分まで、「まなぼつと幣舞2階多目的ホール」で開催されます。参加ご希望の方は、9月17日（日曜日）午後5時までに、市立博物館のホームページ又はお電話（0154-41-5809）にてお申込みください。